

カード情報等の安全管理サービス PCI DSS準拠『AEGIS（イージス）』



AEGIS（イージス）

～名称由来：ギリシャ神話に登場し、ありとあらゆる邪悪・災厄を払う魔除けの能力を備えている盾（イージス）～

PCI DSSとは、クレジットカード会員情報を安全に取り扱うことを目的として策定された、クレジットカード業界のセキュリティ基準で、Payment Card Industry Data Security Standardの頭文字からとったものです。

『AEGIS（イージス）』はPCI DSS準拠環境下にあるホスト機器群（IBMi（AS/400）等）にて実行しているシステム・サービスの総称となります。

- カード会社様ならびにカード情報保有業者様向けのシステム・データ保守管理
- クレジットカード会員番号の非保持化対応

<PCI DSS準拠が必要な業種とは>

金融：クレジットカード会社、金融機関

流通：百貨店、小売店、航空会社、鉄道会社

通信・メディア：通信事業者、新聞社

製造：石油産業 他

以下のようなことでお困りの企業様に・・・

PCI DSS準拠対応

PCI DSS準拠には一般的に12ヶ月～18ヶ月程度の時間がかかると言われています。予定以上の構築が発生したり等、様々な要因により長期化するケースもあります。また、準拠支援のコンサルタント費用や支援範囲の対策費用など、準拠にかかる期間と費用が大きな課題となっておりますでしょうか。

PCI DSS準拠後の維持負担

PCI DSS準拠は、審査合格後、恒久的に認定が受けられるものではありません。定期的な監査（定常運用や定期診断など）及び基準を満たすための運用要員および費用の確保が必要となってきます。これらの維持に自社内のリソースのみに頼ることは、事業継続の上でも大きな負担になっておりませんか。

テレワーク推進

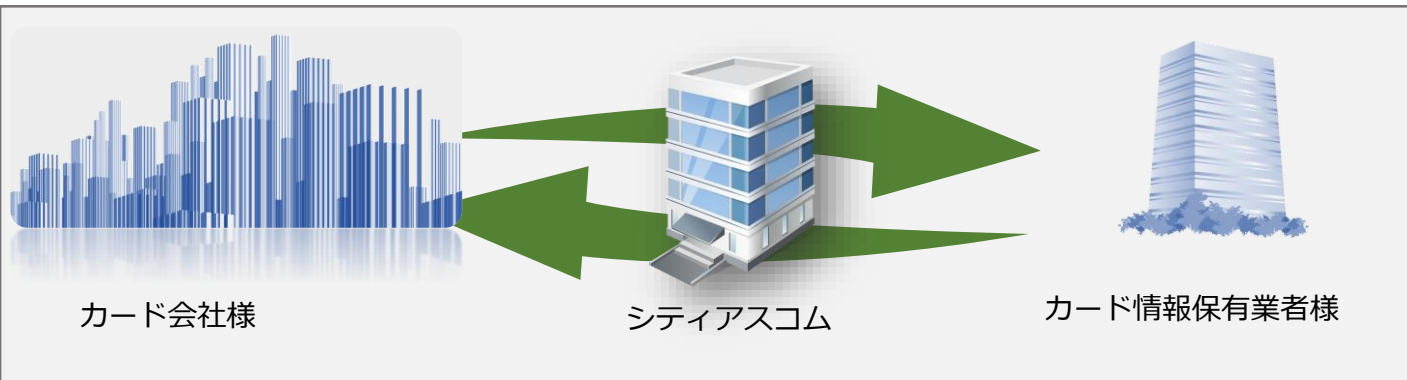
セキュアなデータを取り扱う関係上、自社で運用を行っている企業様では、運用要員の自社出勤が必須となり、テレワークの推進に弊害が出ているケースもあるかと思います。新型コロナ禍に見られる事務所閉鎖などの事象が発生した際のBCP対策が課題となっておりますでしょうか。



『AEGIS（イージス）』にて解決いたします

『AEGISサービスの御紹介』

具体サービス



<カード会社様>

カード会社様向けに開発したシステム群を、ご提供しております。

- 審査システム
- 保証債権システム
- 信用照会システム
- クレジット管理システム
- 一体型カードシステム
- 名寄せ・クレジット審査管理システム
- 自己審査システム
- 延滞債権管理システム
- 加盟店管理システム

etc



<カード情報保有業者様>

PCI DSS準拠を行わない／準拠範囲を縮小したい業者様向けにカード会員情報の取り扱いに関するサービスをご提供しております。

- カード会員情報非保持化対応サービス
- カード会員情報保管サービス
- カード会員情報伝送サービス



<IBMi (AS/400) 利用業者様>

御社にて運用しているIBMi (AS/400) がある場合、稼働中のシステム資産（プログラム及びデータなど）を弊社のIBMi (AS/400)（※PCI DSS準拠環境下）に移設させ、御社専用のリモート利用環境を構築するサービスをご提供しております。

システム資産のスリム化・運用コスト低減などに貢献いたします。



安全で安定したサービス提供の理由

当社は、2020年5月15日、クレジットカード業界の国際的なセキュリティ基準「PCI DSS」の準拠証明を取得しました。高度なセキュア環境下における安心・安全なサービス提供を行わせていただいております。

その他、様々な規格に準拠した開発・サービスも提供しております。ご不明な点は、お気軽にお問合せください。

